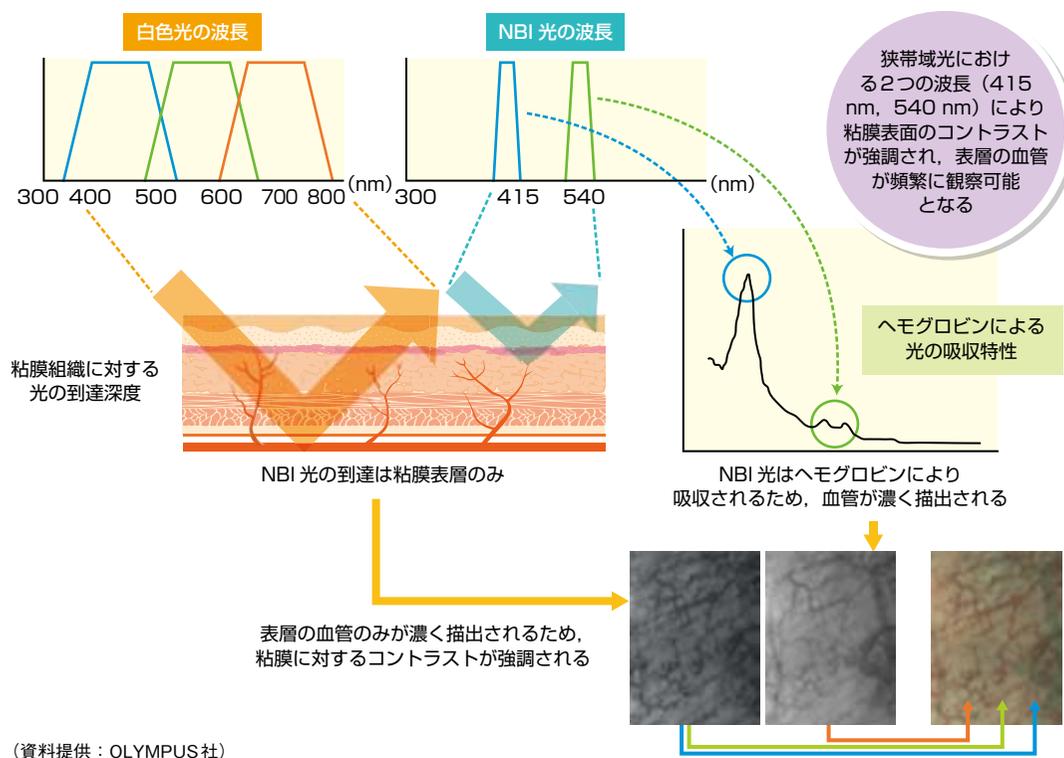


## B NBIの技術解説およびOLYMPUS LUCERAシリーズの製品解説

- ### NBIの基本
- NBIの狭帯域照射光はヘモグロビンにより吸収されるため、コントラストが強調され、微細な粘膜模様や表層の血管が鮮明に観察できる
  - 第二世代NBI(LUCERA ELITE290シリーズ)では光量が強くなり、拡大のみならず中・遠景観察が可能となった

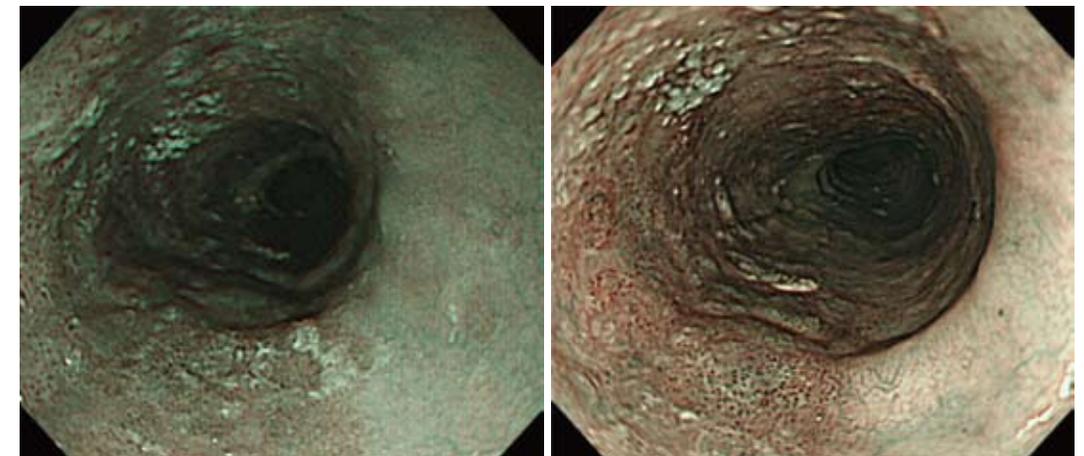
### NBIシステム概念図



- NBIは青色と緑色の狭帯域光を粘膜に投射し、粘膜表層の微小血管像と粘膜表面の微細構造を明瞭にする。
- 第一世代NBI(LUCERA SPECTRUM 260シリーズ)は、広い管腔臓器である胃では中・遠景画像が暗いため、病変の存在診断には適さない。

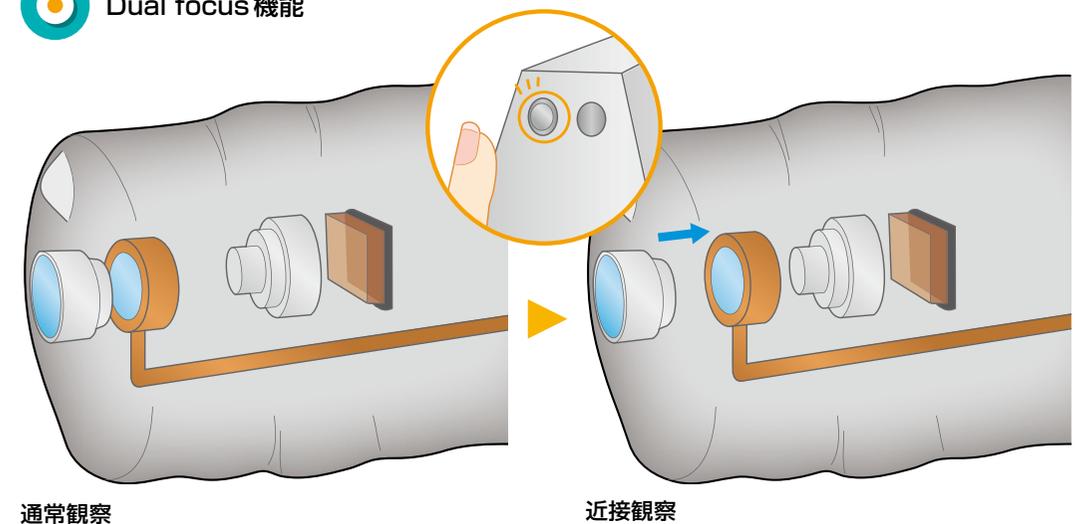
### 第一世代NBI(LUCERA SPECTRUM 260シリーズ)と第二世代NBI(LUCERA ELITE290シリーズ)の比較

### 症例 早期食道癌 0-IIc 60 mm 切歯29~35 cm



- 第二世代NBI(LUCERA ELITE 290シリーズ)は、光源の光量を強くし青色光を発するフィルターを2倍にしており、第一世代と比較して中・遠景の観察が可能である。

### Dual focus機能



- ワンタッチで、通常観察と近接観察を切り替えられる。
- ELITEシステムに搭載されており、GIF-HQ290およびCF-HQ290L/Iで使用できる。